

地域ニュース

鍋横かわら版

発行 鍋横区民活動センター運営委員会

〒164-0012 中野区本町 5-47-13

TEL 03-3383-2733 FAX03-3383-2734

Eメール nabekun2733@gmail.com

ホームページ <http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp>

鍋横歴史探訪 その1・・・本五ふれあい公園

むかしお屋敷、今は公園

本五ふれあい公園が開園して9年が経ちました。開園時に行った防災体験ラリーは、大きなこいのぼりと子ども防災ラリーとなって今年も4月26日（土）に行われました。スポーツ広場では少年野球、サッカー、グラウンドゴルフ、ラジオ体操、草地広場では保育園の子どもたちが遊んだり、町会の地域行事やプレーパーク、公園カフェなどが行われ、多くの人でいつも賑わっています。



T.11（1922）S.32(1957)H.20（2008）H.28（2016）～

有嶋邸
*1

有嶋健助氏が土地を取得。それ以前のこのあたりは田畑、林だったようです。

戦後の一時期はアメリカ軍将校の宿舎として使用されアメリカ軍は朝鮮戦争（1950～1953年）の頃に引き上げた

日本電信電話公社が有嶋氏から土地取得

1957～1959年頃に建設

電電公舎の社宅

NTT社宅
*2

2008年社宅の取り壊し

都市計画決定や都市計画公園事業認可の手続き

NTT社宅跡地を地域一帯の防災機能の充実やみどりの拠点として整備し公園として活用するため、まちづくりの調査、都市計画決定や都市計画公園事業認可の手続き

2016年3月19日開園

本五ふれあい公園

2015年7月～工事

工事の前、仮称本町五丁目公園として開放された

***1 有嶋邸**
明治グループの製菓業、乳業、食品事業の礎を築いた有嶋健助氏の屋敷。健助氏に子どもがいなかったため、氏亡き後、甥の成夫氏が家督相続しました。有嶋健助氏は、小説家として有名な有島武郎、洋画家の有島生馬といとこにあたります。
戦後の一時期アメリカ軍将校の宿舎として使われていたことがありました。当時近所の子どもたちは、広い庭で遊んだり、クリスマスには招かれて楽しいひとときを過ごしたそうです。（鍋横観察隊「鍋横物語」参照）

***2 NTT 中野千代田町社宅**
京王バス中野車庫前にあった総戸数128戸の社宅です。昭和32～35年頃に建設されたようです。間取りは2DK型と3DK型の4棟で構成されていました。2008年ごろに取り壊され、跡地は中野区立本五ふれあい公園になっています。
（公団ウォーカー 電電アパートの研究より）
https://codan.boy.jp/ntt_apartment/index2.html



今年も「大きなこいのぼりと子ども防災ラリー」開催 2025.4.26(土)

主催：鍋横地区町会連合会
（千代田・宮里・西町・鍋横・新中野・本六）



東京都の「地域の底力発展事業」の助成を受けて開催する「大きなこいのぼりと子ども防災ラリー」は4回目の開催となりました。今年も晴れ渡った青空のもと、清々しい風が気持ちよい一日となり、たくさんの子育て中の親子の皆さんが参加して賑わいました。子どもたちが自由にペイントしたカラフルなこいのぼりは、子どもたちの健やかな成長を願いながら、公園の木々の間を元気に泳ぎました。

この催しは鍋横地域の六つの町会が合同で企画運営し、行政や消防署、地域団体の協力を得て右のようなブースをそれぞれが担当しています。

災害時に対応できる知識を、親子で楽しみながら学ぶことができるよう工夫しています。

＜協力団体＞
鍋横区民活動センター運営委員会、中野区、中野消防署・消防団、赤十字奉仕団鍋横分団、東京土建組合中野支部、なべよこクラブ、二中ゆうなっと、NPO法人ZEROキッズ、いのちと健康なかのJAPAN、p.a.n.d.a.研究室
同時開催：MINAMI2015、ほんごCAFE、令和7年度第1回中野区防災体験デー

＜お楽しみブース＞
こいのぼりペイント
こいくぐり
ポップコーン
スーパーボールすくい
わなげ
新聞紙かぶと作り
シャボン玉あそび
ほんご CAFE

＜防災ブース＞
防災クイズ
防災倉庫の説明
起震車体験
災害時のトイレ
水消火器体験
ママたちの防災
ペットの防災
食とトイレ
炊き出し
（アルファ化米・餅つき）

「大きなこいのぼりと子ども防災ラリー」の参加者は、子ども（0歳～10歳）267人、大人（保護者）270人、協力者210人、総勢747人でした。